

9/
10

消防防災ヘリを使った合同訓練で県と町の連携強化 愛媛県消防防災航空隊と町消防本部が合同訓練を実施



愛媛CATV
動画

愛媛県消防防災航空隊と愛南町消防本部の合同訓練が南レク城辺公園球技広場であり、航空隊の隊員8人と町消防本部の署員12人が参加しました。

愛媛県消防防災航空隊は、専門のパイロットや整備士のほか、県内14の消防本部から3年間の任期で出向隊員を受け入れて構成する組織で、有事の際には消防防災ヘリを使って機体が着陸できない山間部や海上での救助活動などを行っています。

山岳救助活動を想定して行われたこの日の訓練では、町消防署第3小隊に所属する隊員9人が、航空隊の隊員の指導の下、初めに地上で消防防災ヘリの乗降手順や、地上と上空を昇降する際に身に付ける装備品の確実な装着方法などを学びました。

その後、ヘリは高度30メートル付近まで上昇し、町消防署の隊員は機体に取り付けられたワイヤーを身体に装着し、昇降訓練を実施しました。消防防災ヘリを使った訓練に今回初めて参加したという町消防本部の竹川翔汰^{しょうた}消防士は、「航空隊の皆さんに点検などをしていただき、安全性を確保した上で消防防災ヘリから昇降することができ、貴重な経験になった。有事の際には航空隊と連携して、自分たちは地上での活動で力になれるようにしたい」と話しました。



▲愛媛県消防防災航空隊の隊員から消防防災ヘリの乗降手順を教わる町消防署の隊員

9/
13

園児から大人まで参加 地域が一体となった 令和2年度福浦小学校・地域合同運動会



愛媛CATV
動画

福浦小学校グラウンドで「令和2年度福浦小学校・地域合同運動会」(福浦小学校・福浦公民館主催)があり、福浦小学校の児童14人や船越保育園児10人のほか、地域住民も多数参加して16種目の個人・団体競技が行われました。

今大会は6年生の濱田亜紀^{あき}さんが考えた「14人 みんなが主役 運動会」をスローガンに掲げ、地元の中高生も運営に協力するなど、地域が一体となった手作りの運動会として実施されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として午前中のみの開催とするなど、例年に比べて規模は縮小されましたが、参加者は紅白に分かれて徒競走や綱引き、借り物競争などに全力で取り組み、観客席からは大きな歓声が上がりました。

運動会の最後にはアトラクションとして、体育館に移動して福浦小学校児童による和太鼓や樽太鼓の演奏と掛け声による「風の子太鼓」が披露されました。

小学校生活最後の運動会を終えた6年生の菅原瞬^{すかはらしゆん}さんは、「印象に残った競技は紅白対抗リレーで、いつも通り走ることができた。応援が力になり、楽しくて良い運動会になった」と感想を述べました。



▲全力で競技に取り組む児童とそれを見守る来場者



▲笑顔を見せながら紅白に分かれて綱を引く福浦小の児童



▲贈り物を渡す御荘平山の上甲勝則区長（右）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、敬老会や催し物などを行えなかった地区で敬老の日に合わせて、お年寄りにお菓子やお弁当などが贈られました。

御荘平山地区では、地区の役員が朝から配布物を準備し、昼食に合うように、お年寄り93人に配りました。

配達を行った上甲勝則区長は、「例年のように催しができなかつたので、お弁当などを贈って少しでも喜んでいただけたら幸い」と話しました。

9/21

各地区でお年寄りに敬老の日の贈り物



▲記念品を受け取った町内最高齢の山口繁子さん

特別養護老人ホーム柏寿園で、長寿を祝う敬老の式典が行われ、100歳以上の入所者5人に愛南町から記念品が贈呈されました。その中の一人、山口繁子さんは町内最高齢で、満106歳（今年の12月で満107歳）を迎えました。

山口さんは、「目標は120歳、できたら200歳を目指して、これからも毎日、新聞を読んでいろんなことを知り学ぶことを続けていきたい」と笑顔を見せました。

9/23

柏寿園で長寿を祝う敬老の式典



▲特産品のPRを行う久万高原町の職員

道の駅みしょうM.I.Cで「久万高原の魅力発信フェア」が開催され、久万高原町の職員が特産品を販売しました。

愛媛の海山交流は、8月に実施した久万高原町の道の駅みかわと道の駅天空の郷さんでの「愛南町の魅力発信フェア」と今回のフェアで、愛南町と久万高原町の交流を目的として行われました。

今回、久万高原町のリンゴなどの農産物や、それらを加工したジャムやジュースなどの販売が行われました。

9/27

久万高原町の特産品を愛南町で販売



▲落ち葉やがれきなどを収集する愛南漁協の職員

愛南漁協の職員20人が、鮪越トンネルから愛南漁業協同組合深浦本所（鮪越）に至までの道路沿いのごみ拾いを実施し、ペットボトルや空き缶、落ち葉などを収集しました。

この活動は、愛南漁協が定期的にしているもので、深浦本所付近や町内の海岸線沿いで草刈りやごみ拾いなどの清掃をしています。

愛南漁協の立花弘樹組合長は、「みんなできれいな町を作っていくことが大切」と話しました。

10/2

愛南漁協の職員が道路沿いのごみ拾い実施

10/
7

中学生が地震を疑似体験して防災意識向上

城辺中学校で2年生を対象とした防災学習会があり、56人の生徒が参加しました。

学習会では、生徒が地震体験車に乗り、東日本大震災と同じ震度7の揺れを体験しました。その後、町消防本部危機管理専門官の二場健児さんから地震に関する話を聞き、避難方法などについて学びました。

参加した古川幸来さんは、「学習会で学んだことを生かし、自分の命は自分で守れるようにしたい」と話しました。



▲震度7の揺れに、机をつかんで耐える生徒

10/
9

国道56号線沿いの花壇の管理を定期的に行い、地域の環境美化への取り組みが評価されて南宇和高校農業クラブが「令和2年度地域環境美化功績者環境大臣表彰」を受賞

国道56号線沿いの花壇の管理を定期的に行い、地域の環境美化への取り組みが評価されて10月9日付けで、愛媛県立南宇和高等学校農業クラブが、「令和2年度地域環境美化功績者環境大臣表彰」を受賞しました。

環境省では、毎年6月の環境月間に合わせて、環境保全や地域環境保全、地域環境美化の3部門で、顕著な功績があった者や団体に対し、その功績をたたえるため、環境大臣による表彰を行っています。

今回の表彰は、南宇和高等学校農業クラブが20年以上にわたり国道56号線沿いの5カ所の花壇管理を行ってきた功績が認められたものです。

受賞について農業クラブ会長の田中綸さん(3年)は、「いろいろな人に花壇がきれいだと声を掛けていただき、うれしい気持ちになりました。これからも農業クラブの伝統として後輩につなげていきたい」と話し、菅原こころさん(2年)は、「私たちの活動がこのような表彰を受けるとは思っていませんでした。これからも皆さんに喜ばれるよう花壇の管理を行います」と受賞の喜びを述べました。



▲県南予地方局にて表彰状を受け取った南宇和高校農業クラブの田中綸さん(中央右)と菅原こころさん(左から河瀬南予地方局長、菅原こころさん、田中綸さん、片山了輔教諭)

10/
18

任期満了に伴う愛南町長選挙 投票結果をお知らせします

令和2年10月30日任期満了に伴う愛南町長選挙(10月13日告示、同18日投票)があり、18日(日)は町内51カ所の投票所で投票が行われました。開票の結果、現職の清水雅文町長が再選されました。

投票結果は右記のとおりです。

投票結果

▶当日有権者数

18,293 人(男 8,528 人 / 女 9,765 人)

▶投票総数

14,227 票(有効 14,136 票 / 無効 91 票)
(うち期日前投票数 5,282 票)

▶投票率(期日前投票を含む)

77.77%

開票結果

(届け出順)

候補者名	得票数(票)
金繁 典子	5,882票
清水 雅文	8,254票



(投票結果など)

愛南町
ホーム
ページ